

熊本高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	技術英語
科目基礎情報					
科目番号	0106		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	建築社会デザイン工学科		対象学年	5	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	配布資料				
担当教員	松家 武樹, 浦野 登志雄, 岩坪 要, 森山 学, 上久保 祐志, 橋本 淳也, 勝野 幸司, 後藤 勝彦, 森下 功啓, 脇中 康太, 川口 彩希				
到達目標					
1. 英語の基礎事項が理解できる。 2. 技術英文和訳の方法が説明できる。 3. 基本用語の英単語および英文の解釈ができる。 4. 専門書に記載された基本文章の理解と表現ができる。 5. 技術レポートの基本文章の理解と表現ができる。					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
基本用語の英単語および英文の解釈ができる。	授業に用いた専門分野における基本用語の8割以上について、英単語および英文の解釈ができる。	授業に用いた専門分野における基本用語の7割以上について、英単語および英文の解釈ができる。	授業に用いた専門分野における基本用語の英単語および英文の解釈が6割未満である。		
専門書に記載された基本文章の理解と表現ができる。	授業に用いた専門分野における英文の論文や技術レポートにの8割以上について理解と表現ができる。	授業に用いた専門分野における英文の論文や技術レポートにの7割以上について理解と表現ができる。	授業に用いた専門分野における英文の論文や技術レポートにおける基本文章の理解と表現ができる割合が6割未満である。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	建設関連分野共通の技術レポート等を題材として、専門用語の理解および読解力の向上などを図り、技術英語の基礎力を養成する。				
授業の進め方・方法	前期は松家が担当する。後期は各研究室の指導教員が担当する。 前期では、専門分野・基礎工学分野の英文の読解などを中心に授業を進める。 後期はより専門性の高い英文の読解などを行う。				
注意点	本科目は2単位科目であるため、規定授業時数は60時間である。				
授業の属性・履修上の区分					
<input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	授業概要説明	本科目と建設業との関わりについて理解し、説明することができる。	
		2週	専門用語の説明と英文の読解 (1)	建設分野の専門用語を理解し、英文を読解することができる。	
		3週	専門用語の説明と英文の読解 (2)	同上	
		4週	専門用語の説明と英文の読解 (3)	同上	
		5週	専門用語の説明と英文の読解 (4)	同上	
		6週	専門用語の説明と英文の読解 (5)	同上	
		7週	専門用語の説明と英文の読解 (6)	同上	
		8週	【中間試験】		
	2ndQ	9週	中間試験の答案返却と解説	講義内容で理解できていない部分を抽出し、理解を深める。	
		10週	基礎工学分野の用語の説明と英文の読解 (1)	基礎工学分野 (コンクリート工学・構造力学・土質工学) の専門用語を理解し、英文を読解することができる。	
		11週	基礎工学分野の用語の説明と英文の読解 (2)	同上	
		12週	基礎工学分野の用語の説明と英文の読解 (3)	同上	
		13週	基礎工学分野の用語の説明と英文の読解 (4)	同上	
		14週	基礎工学分野の用語の説明と英文の読解 (5)	同上	
		15週	【定期試験】		
		16週	定期試験の答案返却・解説	講義内容で理解できていない部分を抽出し、理解を深める。	
後期	3rdQ	1週	授業ガイダンス	後期における授業形態を把握する。	
		2週	建設分野の論文等抄録の読解 (1)	専門書に記載された英文を理解し、表現ができる。	
		3週	建設分野の論文等抄録の読解 (2)	同上	
		4週	建設分野の論文等抄録の読解 (3)	同上	
		5週	建設分野の論文等抄録の読解 (4)	同上	
		6週	建設分野の論文等抄録の読解 (5)	同上	
		7週	建設分野の論文等抄録の読解 (6)	同上	
		8週	建設分野の論文等抄録の読解 (7)	同上	
	4thQ	9週	建設分野の論文等抄録の読解 (8)	同上	
		10週	建設分野の論文等抄録の読解 (9)	同上	

	11週	建設分野の論文等抄録の読解（10）	同上
	12週	建設分野の論文等抄録の読解（11）	同上
	13週	建設分野の論文等抄録の読解（12）	同上
	14週	建設分野の論文等抄録の読解（13）	同上
	15週	【定期試験】	
	16週	建設分野の論文等抄録の読解（14）	同上

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用能力向上のための学習	<p>関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。</p>	3	前13,前14
				<p>関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。</p>	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				<p>英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。</p>	3	前10,前11,前12,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	<p>書籍、インターネット、アンケート等により必要な情報を適切に収集することができる。</p>	3	
				<p>収集した情報の取捨選択・整理・分類などにより、活用すべき情報を選択できる。</p>	3	
				<p>収集した情報源や引用元などの信頼性・正確性に配慮する必要があることを知っている。</p>	3	
				<p>情報発信にあたっては、発信する内容及びその影響範囲について自己責任が発生することを知っている。</p>	3	
				<p>情報発信にあたっては、個人情報および著作権への配慮が必要であることを知っている。</p>	3	
				<p>目的や対象者に応じて適切なツールや手法を用いて正しく情報発信(プレゼンテーション)できる。</p>	3	

評価割合

	試験	レポート	合計
総合評価割合	50	50	100
基礎的能力	0	0	0
専門的能力	50	50	100
分野横断的能力	0	0	0